



【コンセプト】

会計上の利益よりもキャッシュが重要視されるようになったいま、ファイナンスの重要性はますます高まっているといっても過言ではありません。ファイナンスとは、ひと言でいうと、「企業価値の最大化」をはかるための意思決定に役立つ「ツール(道具)」だと言えるでしょう。その意思決定には、投資・資金調達・配当の三つがあり、いずれも企業の将来を見据えた上で行われるものです。

この講座は、ファイナンスのことを勉強しようとしても、どこから手をつけていいのかわからないビジネスパーソンや経営者の方々が、ファイナンスの基本を映像講義でざっくりと理解できる内容となっています。ざっくりといっても、概略をなぞっただけではなく、つまずきやすいところをしっかりと解説していきます。

(講義時間 30分×12回=6時間)

【講義資料より】

【テーマ】

- 第1回 会計の基礎 (1) 会計とファイナンスの違い
- 第2回 会計の基礎 (2) ミニ演習
- 第3回 お金の時間価値 将来価値と現在価値
- 第4回 投資の判断基準 (1)
- 第5回 投資の判断基準 (2)
- 第6回 フリーキャッシュフローとは何か
- 第7回 投資の判断基準 ミニ演習
- 第8回 運用リターンと調達コスト (1)
- 第9回 運用リターンと調達コスト (2)
- 第10回 会社の値段～企業価値評価 (1)
- 第11回 会社の値段～企業価値評価 (2) ミニ演習
- 第12回 まとめ

損益計算書を分解する

① 売上高	製品・商品・サービスの販売額
② 売上原価	製品の製造コストや商品の仕入額
③=①-② 売上総利益	製品や商品そのものからいくら儲かった
④ 販売費及び一般管理費	販売活動や管理活動にかかった費用
⑤=③-④ 営業利益	本業の営業活動からうみ出された利益
⑥ 営業外損益 (実利利息・受取利息など)	営業活動以外の経常的に発生する収益
⑦=⑤+⑥ 経常利益	通常の営業活動や財務活動から生み出
⑧ 特別利益・特別損失	通常の営業・財務活動から生み出され
⑨=⑦+⑧ 税引前当期利益	企業のすべての活動からうみ出された利
⑩ 法人税等	当期の所得に対して、税法に基づき計
⑪=⑨-⑩ 当期利益	税金の差し引き後に最終的に残った利

現在の100万円と5年後の127.63万円の価値は同じである



- 5年後の127.63万円を年率5%で割り引くと100万円になる
- このときの%を「割引率」といい、投資対象に対するリスク認識によって変化させる